# 第1章 鯖江市および公共交通の現況

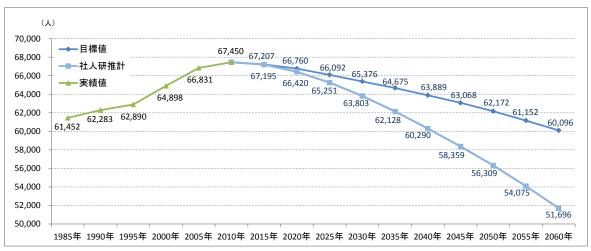
#### 1. 鯖江市の現況

# (1)人口・高齢化状況

本市の人口は、平成22年(2010年)において67,450人となっており、堅調に増加傾向を示しています。今後の見通しについては、国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の推計では、平成22年(2010年)をピークに減少に転じ、約10年後の平成37年(2025年)には65,251人、20年後の平成47年(2035年)には62,128人になるとされています。

本市では、国の長期ビジョンにおける合計特殊出生率の向上に加え、より意欲的な目標と して若者を毎年 30 人増加させるものとして、平成 37 年(2025 年)には 66,092 人、平成 47 年 (2035 年) には 64,675 人を目標人口としています。

また、年齢構成については、社人研推計ではさらなる少子高齢化の進行が推計されていますが、長期的には年少人口、生産年齢人口が増加することにより、高齢化の進行を抑制することになります。



資料:国勢調査、鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ■人口の推移と将来目標



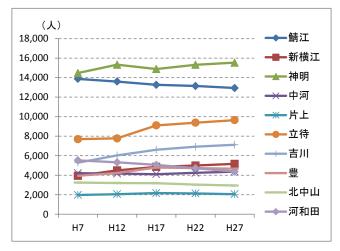
資料:国勢調査、鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略

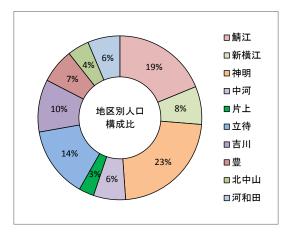
#### ■年齢構成の推移と将来目標

#### <地区別人口>

人口の分布、推移を地区別にみると、JR北陸線、福井鉄道福武線沿線に市街地を構成する鯖江地区、神明地区に本市全体の約4割が集積しています。市域東部、西部にもそれぞれ市 全体の約3割が集積しており、市全体に人口が分布しています。

過去 20 年の動向をみると、市域西部の吉川地区、豊地区、立待地区や市域南部の新横江地 区で人口が増加する一方、市街地を構成する鯖江地区、市域東部の河和田地区で減少してい ます。





資料:住民基本台帳(各年10月1日(平成27年のみ4月1日))

# ■地区別人口の推移



資料:鯖江市

■地区別人口の分布状況(平成27年4月1日現在)

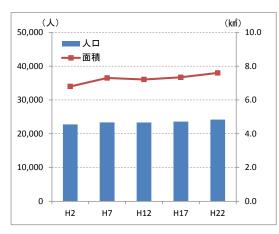
# <人口集中地区>

人口集中地区(人口密度 40 人/ha 以上で 5,000 人以上の人口集積がある地区)は、鯖江地区、神明地区の福井鉄道福武線沿線を中心に形成されており、人口増加に伴い面積も増加した結果、人口密度は減少しています。

■人口集中地区の推移

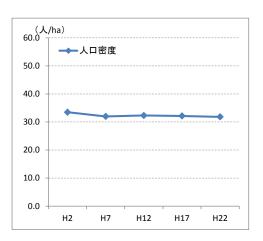
			平成2年	平成7年	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年
人	П	(人)	22, 759	23, 351	23, 308	23, 586	24, 189
面	積	(km³)	6. 8	7. 3	7. 21	7. 34	7. 6
人口	密度(人	/ha)	33. 5	32. 0	32. 3	32. 1	31.8

(各年10月1日現在)



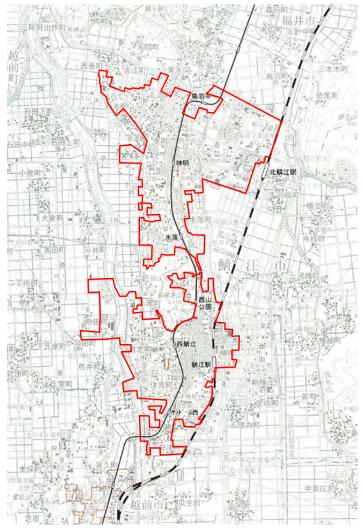
資料:国勢調査

■人口集中地区の人口、面積の推移



資料:国勢調査

■人口集中地区の人口密度の推移



■人口集中地区(平成22年)

# (2) 人口流動状況

通勤通学者数の推移を平成2年と平成22年の比較でみると、常住地ベースで約4%、従業地、通学地ベースで約13%減少しています。

自宅での就業者が半減する一方、福井市、越前市への流出数が増加しています。また、他の市町からの流入数も若干増加しています。

(15 歳以上)

#### ■常住地における就業者、通学者

# ■従業地、通学地における就業者、通学者

(15 歳以上)

【平成2年】

		通 勤	通学	計
鯖	江市	25, 078	2, 263	27, 341
	自 宅	9, 130	ı	9, 130
	自宅外	15, 948	2, 263	18, 211
福	井 市	4, 363	1, 104	5, 467
越	前市	3, 453	1,046	4, 499
越	前町	450	67	517
坂	井 市	129	29	158
敦	質市	107	30	137
そ	の他	302	37	339
鯖	江市外計	8,804	2,313	11, 117
	計	33, 882	4, 576	38, 458

		通 勤	通学	計
鮭	江市	25, 078	2, 263	27, 341
	自宅	9, 130	ı	9, 130
	自宅外	15, 948	2, 263	18, 211
褔	井 市	3, 340	215	3, 555
赲	前市	3, 508	799	4, 307
赲	前町	1,683	70	1, 753
南	越前町	418	111	529
坂	井 市	251	46	297
そ	の他	476	88	564
鯡	江市外計	9, 676	1, 329	11, 005
	計	34, 754	3, 592	38, 346

【平成22年】

			通 勤	通学	計
鯖	鯖江市		19,051	1, 349	20, 400
	自	宅	4,590	-	4, 590
	自宅	外	14, 461	1,349	15,810
褔	井	市	6, 923	1,012	7, 935
越	前	市	5, 456	678	6, 134
越	前	町	750	70	820
坂	井	市	405	25	430
敦	質	市	197	29	226
そ	の	他	875	177	1,052
鯖江市外計		14,606	1,991	16, 597	
	計		33, 657	3, 340	36, 997

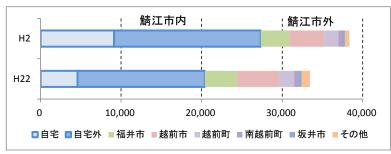
通学 勤 鯖 江 市 19,051 1,349 20, 400 4,590 4,590 自 自宅外 14, 461 1,349 15,810 3,760 232 3,992 福 井 市 前 市 4,676 535 5, 211 前 1,790 96 1,886 407 86 493 南越前町 356 73 429 井 840 185 1,025 そ の 他 11,829 1, 207 鯖江市外計 13,036 計 30,880 2,556 33, 436

資料:国勢調査

<常住地>



<従業地、 通学地>



資料:国勢調査

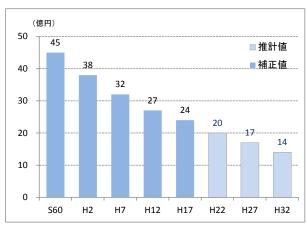
■常住地、従業地・通学地における就業者、通学者(15歳以上)

# (3) 産業動向

# ①農業粗生産額

農業粗生産額は、減少傾向が続いており、 経営耕地面積の減少や農地の宅地化等によ り、今後も減少傾向が続くものと予想され ています。

※将来の農業粗生産額は、昭和60年から平成18年までの実績値を平成17年デフレーターにより補正し、その補正値を基に推計



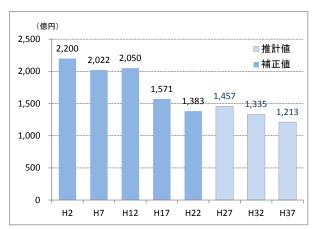
出典:第5次鯖江市総合計画 改訂版

# ■農業粗生産額の推移と見通し

#### ②製造品出荷額等

製造品出荷額等は、近年減少傾向が続いています。今後は、一旦わずかながら増加するものの、再び減少傾向に転じていくものと予想されています。

※従業者4人以上の事業者における将来の製造 品出荷額等は、昭和60年から平成22年まで の実績値を平成22年デフレーターにより補正 し、その補正値を基に推計



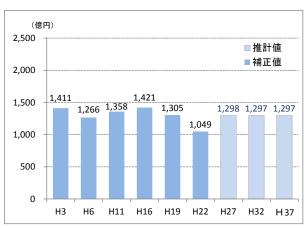
出典:第5次鯖江市総合計画 改訂版

### ■製造品出荷額等の推移と見通し

### ③商品販売額

商品販売額は、近年停滞傾向にあります。 今後も1,300億円弱で推移するものと予想さ れています。

※将来の商品販売額は、昭和 60 年から平成 22 年までの実績値を平成 22 年デフレーターにより補正し、その補正値を基に推計



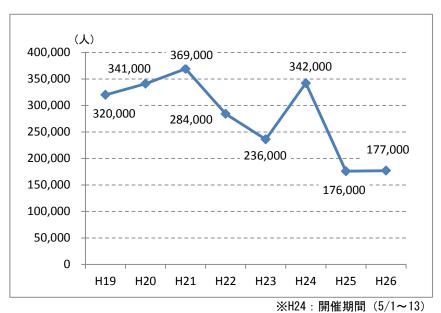
出典:第5次鯖江市総合計画 改訂版

■商品販売額の推移と見通し

# (4) 観光入込客動向

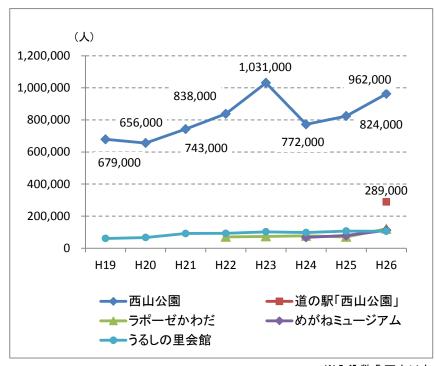
本市を代表する観光イベントである「さばえつつじまつり」の近年の来場者数は、平成 21 年をピークに減少しています。変動が大きい要因は、つつじまつりが短期間の開催で気候等の影響を受けやすいためと考えられます。

年間を通した西山公園の観光入込客数は、平成26年に道の駅「西山公園」がオープンしたことなどにより増加しています。



資料:福井県観光客入込数(推計)

■さばえつつじまつり来場者数 (5/3~5/5)



※入込数5万人以上

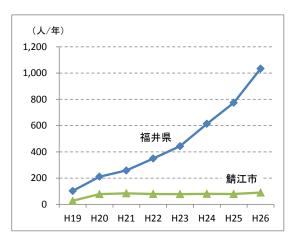
資料:福井県観光客入込数(推計)

■主要観光地の観光入込状況(延べ人数)

# (5) 自動車運転免許保有状況

本市における自動車免許保有者数は、近年においても微増傾向が続いています。一方、運転 免許返納者数は、福井県全体では増加傾向にあるものの、本市においては平成 20 年以降、概 ね80人/年程度で推移しています。





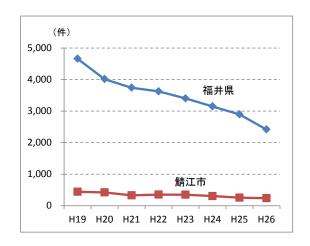
□ 自動車運転免許保有者数の推移

資料:福井県警 ■運転免許返納者数の推移

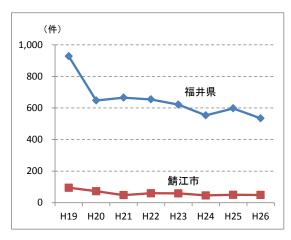
#### (6)交通事故発生状況

交通事故(人身事故)の発生状況は、福井県全体で半減しており、本市においても同様に半減しています。

高齢者が第1当事者となった交通事故件数も減少傾向にあるものの、交通事故全体の減少に 比べて減少率は小さくなっています。



資料:福井県警 ■交通事故発生件数(人身事故)



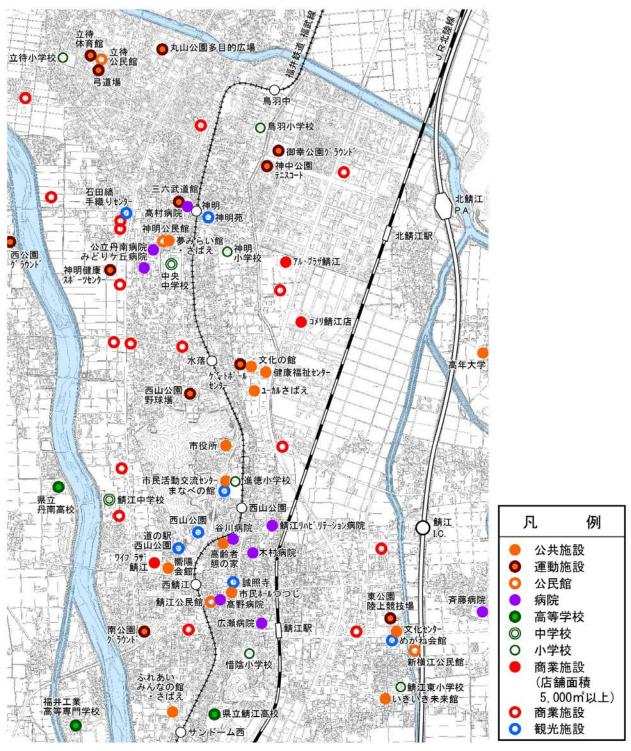
資料:福井県警 ■高齢者が第1当事者となった交通事故発生件数

### (7) 主要施設の分布状況

本市の市街地は、JR北陸線、福井鉄道福武線に沿って南北に長く形成されています。この ため、主要施設も鉄道沿線に多く集積しています。

特に、病院は、JR鯖江駅、福井鉄道神明駅周辺に集積しています。また、ショッピングセンターやスーパーマーケット等の商業施設については、国道8号や市道西縦貫線沿道に立地しています。

郊外部については、河和田地区には主要な観光施設であるラポーゼかわだ、うるしの里会館が立地しており、近隣にはスーパーマーケット、ドラッグストアなどの立地もみられます。



■主要施設の分布状況(市街地)

#### (8) 上位関連計画の整理

①第5次鯖江市総合計画改訂版(計画期間:平成22年度~平成28年度)

# 基本理念 豊かさへの創造

・人、暮らし、ものづくり、自然などあらゆる分野において、市民や企業・団体、行政 が実感できるような豊かさを協働して生み出していきます。

# まちの将来像 │自信と誇りの持てる自主自立のまち

・未来に向けて、「ふるさと鯖江」を残すために、持続可能なまちづくりに努めるととも に、先人が育てた歴史・伝統・文化や産業、固有の自然など魅力ある資源を独自の宝 と捉え、これらの特性を活かした自信と誇りの持てる鯖江市の創造を目指し、市民が 共に支え助け合い、行政と一体となったまちづくりを目指します。

基本目標	都市機能の充実したまちづくり
基本施策	「公共交通」…二次交通のネットワークを充実する

### <現状と課題>

つつじバスについては、平成 22 年度には新型車両を、平成 24 年度にはバスロケーションシステム(バスの位置情報)を導入するなど、高齢者の足の確保と利便性の向上に努めており、利用者数は着実に伸びています。

福井鉄道福武線については、鉄道事業再構築事業の認定を受け、平成21年3月から10年間、国・県・ 沿線3市の助成を受けながら経営再建を進めており、利用者数は着実に増加していますが、さらなる利 用者増につながる取り組みが求められています。

JRの利用促進については、JR西日本金沢支社への陳情活動や鯖江市民号を実施し、特急の鯖江駅 停車本数の増加や駅のバリアフリー化が進められています。

平成24年6月に金沢・敦賀間の着工が認可された北陸新幹線については、平成37年度末※に開業予定です。本市には新幹線の駅が設置されないため、新幹線の最寄駅となる福井駅や南越駅(仮称)との接続やアクセス道路の整備など二次交通網の構築が今後の課題となり、既存のつつじバスを活かしたシャトルバス運行などの検討も必要となります。

#### <基本方針>

つつじバスについては、「地域に活かされるバス」と位置づけ、環境に配慮した交通体系の確立を目指すとともにソフト・ハード両面から充実を図ります。特に高齢者の移動手段の確保と利便性の向上に重点を置き、より一層の市民ニーズに応えた移動手段の確保を目指します。

福井鉄道福武線については、住民の大切な公共交通機関として沿線 3 市が連携し、より一層の利用促進を図るとともに、ソフト・ハード両面での利便性を向上させながら平成 29 年度を目処に年間利用者 200 万人台を目指します。

JRの利用促進については、鯖江駅の充実とビジネス客や観光客を中心としたJR鯖江駅乗車人数の 上乗せを図り、特急列車の鯖江駅停車本数のさらなる増加を目指します。

北陸新幹線については、開業による本市への影響を最小限に食い止めるため、新幹線と連携した二次 交通の構築や本市のものづくり産業をはじめ、歴史、伝統、文化、自然など地域資源を活用した魅力あ るまちづくりを検討します。

※北陸新幹線は、平成27年3月14日に金沢開業となりました。金沢・敦賀間については、平成34年度末の完成・開業を目指すことを政府が決定しています。

# ②鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (計画期間:平成27年度~平成31年度)

### 〇人ロビジョン

本市では、国の長期ビジョンと同様に、合計特殊出生率を人口置換水準以上に引き上げ、 出生数を増加させるとともに、若者世代、特に母親世代人口の社会増に基づいて人口の将来 展望を行っています。

これに基づき、意欲的な目標として 2060 年の人口を約 6 万人としています。これにより、 高齢化率を 29.5%に抑えています。

#### 〇まち・ひと・しごと総合戦略(抜粋)

コンセプト

世界にはばたく地域ブランド「めがねのまち さばえ」

#### 基本施策

# どこにでも歩いて行ける交通網の整備

成果指標	単位	現状値	目標値
つつじバス年間利用者数	万人	18.8 (H26)	20 (H31)
福武線 市内駅年間利用者数	万人	48. 2 (H26)	52 (H31)
公共交通が充実していると感じている人の割合	%	78. 1 (H24)	80 (H31)

# 実施施策

#### 幹線交通網と二次交通網のネットワークによる地域公共交通網の形成

平成35年春の北陸新幹線敦賀開業後、北陸本線がJRから経営分離されるなど幹線交通網が大きく変化する鯖江市において、「自主自立のまち」を維持するためには、地域のコミュニティバス(愛称:つつじバス)を中心とした二次交通網の再編が不可欠です。

そのため、現状の課題や意向調査等による市民ニーズを正確に把握した上で、地域公共交通 の活性化を推進するための基本方針を策定するとともに、コミュニティバスを中心とした地域 公共交通網の再編策を検討し、市街地の活性化と併せて、活気あるまちづくりを図ります。

- · 鯖江市地域公共交通網形成計画策定事業
- 鯖江市地域公共交通再編実施計画策定事業
- ・コミュニティバス運行事業

### 主要な事業

- · 福井鉄道福武線支援事業
- · J R 鯖江駅利用促進事業
- ・北陸新幹線開業に向けた並行在来線の検討

# ③[改定]鯖江市都市計画マスタープラン(平成24年10月鯖江市)

将来都市像

# 豊かな生活を支える 安心して住み続ける ふるさと鯖江

### 基本目標

# 安心して住み続ける 歩いて暮らすまちづくり

- ・既存の鉄道やコミュニティバス等による公共交通のストックを活用するとともに、空き家、空き地を活用して、公共交通の利便性の高い地区への居住を推進することで、 過度に自動車に依存することなく、すべての市民が安心して住み続けることのできる 生活環境を確保します。
- ・駅を中心として歩いて暮らすまちづくりによって、今の鯖江市を見つめながら、次世代に継承するまちづくりを進めます。

# 交通体系の 整備方針

- ①既存ストックを活用した広域交流、都市連携、地域連携の 交通ネットワークの充実
- ②市民が安心して日常生活を過ごせる公共交通ネットワークの確立
- ③地域の宝を活かした交流・連携を支える交通環境の構築
- ④歩行者や自転車に配慮した安全で安心な道路空間の確保

#### ■公共交通ネットワークの整備方針

・鉄道を中心とする南北方向の公共交通サービスの維持・向上

#### (広域交流幹線軸、都市連携幹線軸)

本市における南北方向の交通軸は、広域交流・都市連携軸を支える交通の骨格を形成するものであり、 鉄道によって公共交通サービスが提供されています。広域的な鉄道網を形成しているJR北陸本線を広 域交流幹線軸、隣接する福井市、越前市を連絡する福井鉄道福武線を都市連携幹線軸として位置づけま す。また、将来的には、JR北陸本線の東側に北陸新幹線の整備が予定されています。

駅の配置については、JR鯖江駅、北鯖江駅をはじめ、福井鉄道の6駅(鳥羽中、神明、水落、西山公園、西鯖江、サンドーム西)が位置しており、各駅の公共交通利便エリア(駅から半径1kmの範囲)によって南北に長い市街地に公共交通サービスを提供しています。

これらの鉄道による公共交通の高い利便性をまちづくりの基本とし、積極的に公共交通の利用を促進することで、現在のサービス水準を維持するとともに、今後の利用動向を踏まえサービス水準の向上を図ります。

# ・バスによる東西方向の公共交通サービスの維持・向上(生活交通フィーダー線)

本市における東西方向の公共交通サービスは、東西に広い市域の市民生活を支える公共交通として、バスを中心としたサービスを提供します。

バスによる公共交通は、現在、鯖江市が運行するコミュニティバスである「つつじバス」と福井鉄道が 運行する路線バス(福鉄バス)によって構成されています。

「つつじバス」は、12 路線あり、広域交流・都市連携軸を構成するJR北陸本線の鯖江駅、北鯖江駅、福井鉄道福武線の神明駅、西鯖江駅 (嚮陽会館)を交通結節点として市域全体にサービスを提供しています。バス停を中心に概ね半径 300mの範囲を利便エリアとすると、一部を除いてほぼすべての市街地や集落をカバーしています。

「つつじバス」および福鉄バスを生活交通フィーダー線として位置づけ、市街地への連絡や鉄道による 広域交流幹線軸、都市連携幹線軸に接続します。積極的な利用促進により、現在のサービス水準を維持するとともに、今後利用動向を踏まえ、サービス水準の向上を図ります。

# ④丹南都市計画区域の整備、開発および保全の方針(平成26年2月福井県)

○伝統産業を活かし歴史や文化を育む都市づくり
都市づくりの
基本理念
○都市間の交流・連携を促進する都市づくり
○安全・安心に住み続けられる都市づくり

#### ■交通体系の整備の方針

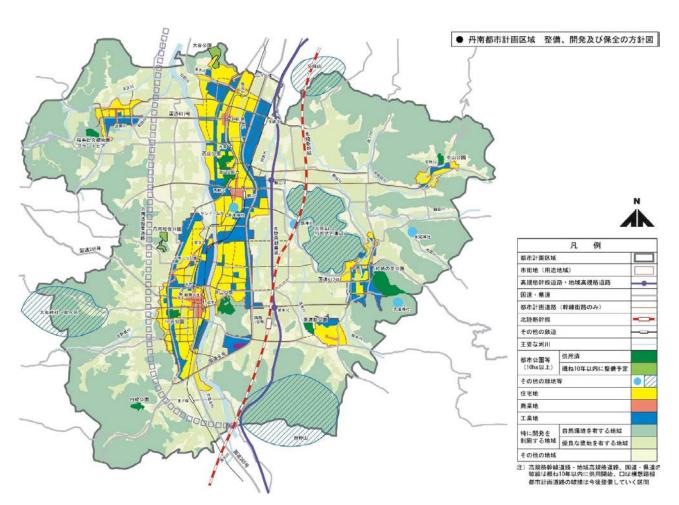
北陸新幹線の整備に伴い、バス路線や鉄道路線の維持、活性化を図り、過度に 自動車に依存する交通体系から自動車と公共交通が共存できる、誰もが利用しや すく環境にもやさしい交通体系へ転換する。

# ■主要な施設の配置の方針

### 〇公共交通関連施設の配置

新幹線南越駅(仮称)については、新幹線開業に伴い必要となる駅前広場や駐車場、交通関連施設などの導入を図る。

交通結節機能を向上させ、また広域交通網を強化するために、鉄道駅等の交通 結節点で、公共交通の利用の需要を考慮して駐車場や駐輪場の整備を図る。



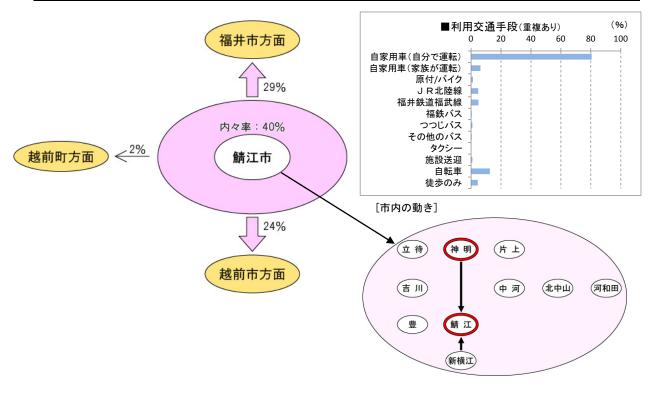
■丹南都市計画区域 整備、開発および保全の方針図

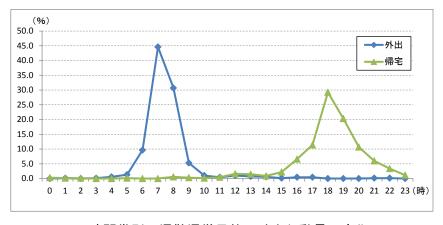
# (9) 市民の外出行動の状況

市民の日常の外出行動を把握するため、市民アンケートを実施し、目的別(通勤通学、通院、買い物、その他私用)に外出の有無、目的地、利用交通手段、頻度等について調査を行いました。結果の概要は、以下のとおりです。

# ①通勤通学

通勤通学している割合	56.8%
利用交通手段	自家用車利用 (89.0%)、公共交通利用 (11.7%)
時間帯	朝 6時台~8時台(3時間) 夕 16時台~21時台(6時間)
通勤通学先	・市内(40%)、福井市方面(29%)、越前市方面(24%)、越前町方面(2%) ・市内で通勤通学交通が特に集中する地区はみられないものの、鯖江地 区、神明地区の割合が多い。

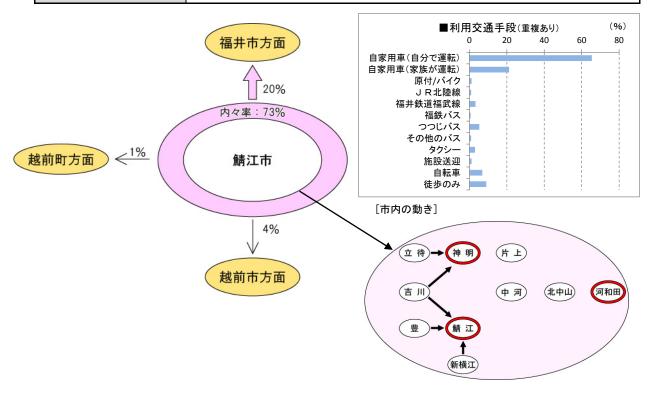


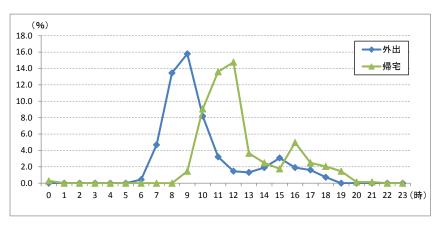


■時間帯別の通勤通学目的の外出行動量の変化

# ②通院

通院している割合	36.0%
利用交通手段	自家用車利用(88.9%)家族送迎の割合が多い 公共交通利用(14.1%)
頻度	月1日以下および月2~3日:87.1%
時間帯	午前中の大きなピーク、夕方の小さいピーク午前中(行き) 8時台~9時台(帰り) 11時台~12時台所要時間3時間夕方 (行き) 15時台所要時間1時間
通院先	・市内(73%)、福井市方面(20%)、越前市方面(4%)、越前町方面(1%) ・通院目的の行動では、鯖江地区、神明地区、河和田地区に集中

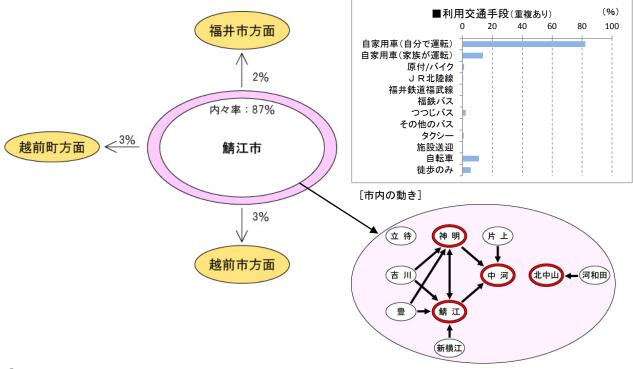




■時間帯別の通院目的の外出行動量の変化

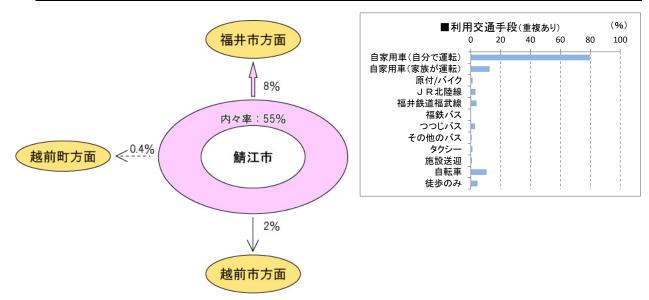
# ③買い物

買い物している割合	71.6%
利用交通手段	自家用車利用 (97.2%)、公共交通利用 (4.2%)
頻度	週1~2日(43.4%)、週3~4日(26.0%)、週5日以上(17.1%)
買い物先	・市内(87%)、福井市方面(2%)、越前市方面(3%)、越前町方面(3%) ・買い物目的の行動では、鯖江地区、神明地区、中河地区および北中山地 区に集中



# ④その他私用

その他私用で外出している割合	59. 7%
利用交通手段	自家用車利用 (94.3%)、公共交通利用 (12.0%)
頻度	週1~2日(36.4%)、月2~3日(27.3%)、週3~4日(13.2%)
外出先	・市内(55%)、福井市方面(8%)、越前市方面(2%)、越前町方面(0.4%)



# 2. 公共交通の現況

#### (1) 利用動向

#### ①公共交通ネットワーク

本市における公共交通は、鉄道、バス、タクシー等によって構成されています。

鉄道は、市域のほぼ中央部を南北に縦貫するJR北陸線、福井鉄道福武線があり、市域を超える広域的な公共交通ネットワークの主軸となっています。

バスは、福井鉄道が運行する路線バスとして、鯖浦線、福浦線の2路線がある他、本市が運営するコミュニティバス「つつじバス」のネットワークが市域全体をカバーしています。

これら公共交通は、市街地や集落地の多くにサービスを提供しており、一部に網羅できていない部分が点在するため、人口カバー率は88%となっています。

各交通手段の運行頻度は、下表に示すとおりです。鉄道は基幹交通として高い運行頻度を確保しており、バスは路線により運行頻度が異なっています。

また、タクシーは、鉄道やバスを補完し、少人数の移動に対してきめ細かいサービスを提供 する公共交通として重要な役割を担っています。

■公共交通ネットワークを構成する公共交通機関

区 分	運営主体	路線名	運行本数(頻度)
<b>数</b> 道	JR西日本	北陸線	大阪方面:56(27)便/日 金沢方面:54(27)便/日 ※( )は、特急の便数
<b></b>	福井鉄道	福武線	福井方面:58 (23) 便/日 越前方面:58 (22) 便/日 ※( )は、急行の便数
		東京線	6 便/日
高速バス	福井鉄道他	名古屋線	16 便/日
		京都・大阪線	6 便/日
路線バス	福井鉄道	鯖浦線	神明駅発:10 便/日 神明駅着: 9 便/日
<b>始称バ</b> へ	<b>抽并</b> 跃退	福浦線	かれい崎方面:4 便/日 田原町方面 :3 便/日
		中央線	19 便/日( 8.8km)
		鯖江南線	3 便/日( 7.4km)
		新横江線	3 便/日( 8.8km)
		神明線	5 便/日( 11.5km)
		片上・北中山線	6 便/日( 27.9km)
コミュニティ	つつじバス	立待線	5 便/日( 13.6km)
バス	(鯖江市)	吉川線	6 便/日( 14.6km)
		豊線	5 便/日 ( 16.2km)
		中河・北中山線	5 便/日 ( 19.3km)
		河和田線	8 便/日 ( 19.1km)
		丹南高校線	3 便/日( 2.5km)
		計	68 便/日(149.7km)
タクシー	タクシー事業者 3 (鯖江タクシー株	•	フシー、相互タクシー株式会社)

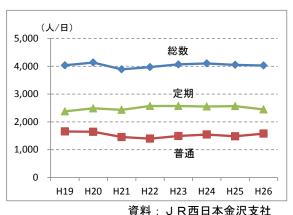
(平成 28 年 4 月 1 日現在)

# ②公共交通利用者数の動向

#### a) JR北陸線

市内には、鯖江駅と北鯖江駅の2駅があります。主要駅である鯖江駅の1日の停車便数は、109便/日で、そのうち、湖西線経由で大阪方面を連絡する特急列車「サンダーバード」、米原経由で名古屋方面を連絡する特急列車「しらさぎ」が半数の54便となっています。

鯖江駅の乗降客数は、約4,000人/日で推移 しており、定期乗車券、普通乗車券の割合に も大きな変化はみられません。



■JR鯖江駅の乗降客数の推移

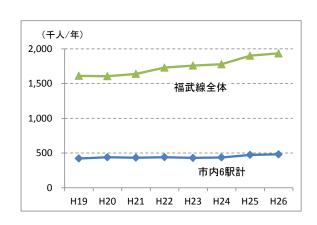
両駅には、駅利用者を主対象としたパーク&ライド駐車場(鯖江駅:295台、北鯖江駅:159台)、駐輪場(鯖江駅:610台、北鯖江駅:96台)が整備されており、鯖江駅はバリアフリー化対応になっています。

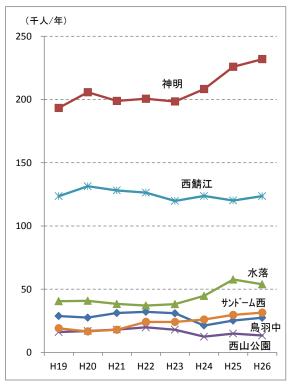
また、鯖江駅には、併設の鯖江市観光案内所にレンタサイクル(電動)を5台設置しています。

# b) 福井鉄道 福武線

市内には、福井鉄道福武線の駅は、6駅あり、急行停車駅の神明駅、水落駅、西鯖江駅の3駅の他、鳥羽中駅、西山公園駅、サンドーム西駅があります。

利用者数は、近年増加傾向にあり、市内 6駅をあわせると 48万人/年になります。





資料:福井鉄道(株)

■福武線の利用者数(6駅合計、各駅)の推移

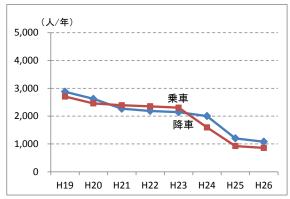
駅別では、近年、神明駅、サンドーム西駅、鳥羽中駅が増加しており、西山公園駅は減少傾向にあります。また、増加傾向にあった水落駅も減少に転じています。

駅施設も、低床車両の導入に対応したホームの低床化をはじめ、駅舎、トイレ等の改築が 行われており、待合環境の改善が進められています。

また、パーク&ライド駐車場については、水落駅の県営駐車場(80台)をはじめ、神明駅(15台)、サンドーム西駅(10台)、鳥羽中駅(5台)に整備されています。

#### c) 高速バス

高速バスは、東京、名古屋、大阪を連絡する3路線が運行されています。 東京、名古屋を連絡する路線とも利用者数は減少傾向にあります。



※福井鉄道・京福電鉄・JR 関東バスによる3社共同運行



※福井鉄道・京福電鉄・名古屋鉄道・JR 東海バスによる 4 社共同運行 ※H25 以降は、福井鉄道のデータのみ

資料:福井鉄道(株)

#### ■高速バス 東京・福井線 鯖江 IC 利用者数

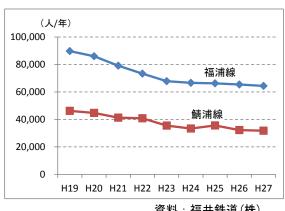
■高速バス 名古屋・福井線 鯖江 IC 利用者数

#### d) 路線バス 福井鉄道 鯖浦線・福浦線

交通事業者が運行する路線バスには、福井 鉄道が運行する鯖浦線、福浦線の2路線があり ます。

鯖浦線は、福井鉄道神明駅と越前町かれい 崎を連絡する路線で、本市および越前町にお ける公共交通の東西方向の幹線軸となる路線 です。

福浦線は、福井鉄道田原町駅(福井市)とか れい崎を連絡する路線で、本市においては、 立待地区を横断しています。

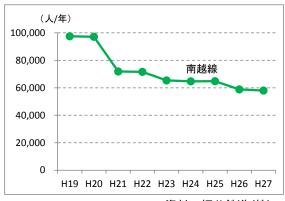


資料:福井鉄道(株)

# ■路線バスの利用者数の推移

両路線とも利用者数は、減少傾向にあるものの、近年減少数は少なくなっています。また、 つつじバスのバス停に隣接したバス停もあります。

一方、福井鉄道の路線バスには、隣接する 越前市において、主要な商業施設のひとつで ある「シピィ」からJR武生駅、福武線 越前 武生駅を経由し、本市北中山地区に隣接する 赤坂地区までを運行する「南越線」があります。 利用者数は、減少傾向にあるものの、越前市 にある武生高校、武生東高校を連絡しており、 高校生の通学を支える重要な公共交通手段と なっています。



資料:福井鉄道(株)

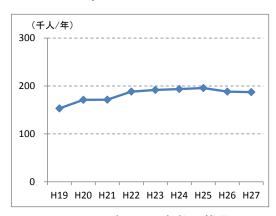
■路線バス(南越線)の利用者数の推移

# e) つつじバス

つつじバスは、平成 10 年に運行を開始した「福祉バス」の規模を拡大し、市民誰もが利用できる「コミュニティバス」として、特に高齢者の日常生活を支える足の確保と利便性の向上に重点をおき平成 13 年 4 月 1 日に運行を開始しました。

平成18年度に実施した社会実験を踏まえ、平成19年度からは、ほぼ現行の路線、時間帯に近い形で運行しています。現在、11路線を運行しており、1日の運行本数は68便となっています。バス路線網は、JR鯖江駅に接続して郊外部を連絡する6路線、神明駅に接続して郊外部を連絡する4路線、および市街地中央部でJR鯖江駅と神明駅を連絡する中央線があります。運行は、車両7台(低床バス6台(中型1台、小型5台)、ジャンボタクシー1台)で行っています。

利用者数は、順調に増加を続け、 平成 25 年度の利用者数は 195,691 人になりました。しかしながら、 平成 26 年度には利用者数の多い中 央線、河和田線をはじめ多数の路 線で利用者が減少し、つつじバス 全体で7千人以上(約4%)減少し ました。



■つつじバス利用者数の推移



■つつじバスの路線別利用者数の推移

■つつじバスの路線別利用者数の推移

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H27/H19
中央線	34, 407	44, 343	43, 302	49, 320	49, 326	52, 656	53,660	50,863	52, 237	1. 52
鯖江南線	571	743	1, 257	1,843	2, 368	2, 225	1, 960	2, 185	2, 261	3. 96
新横江線	1, 109	1, 597	1,772	1,771	1, 929	2, 146	1, 934	1,830	1,836	1.66
神明線	8,079	8, 811	8,724	9, 768	10, 439	12, 750	14, 322	13,831	12, 351	1. 53
片上・北中山線	10, 407	11,067	11,501	12, 944	13, 258	12, 137	11, 958	12, 129	11,970	1. 15
立待線	9, 115	10, 456	11,746	13, 849	13, 211	13, 737	12, 915	13, 298	12,711	1. 39
吉川線	15, 161	16, 965	15, 474	17,500	17, 702	17,007	18, 092	17,926	16, 531	1.09
豊線	13,603	14, 133	14,809	15, 564	17, 197	15, 703	14, 390	14,021	14, 372	1.06
中河・北中山線	9, 161	9, 403	8, 576	9,628	9, 636	9, 450	9,824	8,872	9, 323	1.02
河和田線	47, 274	48, 305	48, 190	49, 150	50, 543	48, 026	49, 152	46,021	46, 821	0. 99
丹南高校線	4, 302	5, 408	5, 999	6, 940	6, 204	6, 554	6, 219	6, 288	6, 758	1. 57
歴史の道線	_	_	_	_	_	1, 105	1, 265	1,057	13	_
全 体	153, 189	171, 231	171, 350	188, 277	191, 813	193, 496	195, 691	188, 321	187, 184	1. 22

資料:鯖江市総合交通課

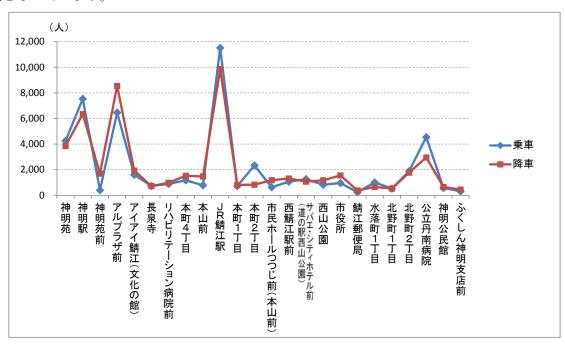
# ■路線別の利用状況

# 〇中 央 線

中央線は、最も利用者数が多い路線で、JR鯖江駅、福井鉄道神明駅をはじめ市街地中央部に位置する公共施設や商業施設を連絡する循環線です。

運行便数も最も多く19便/日で、概ね2便/時で運行しています。

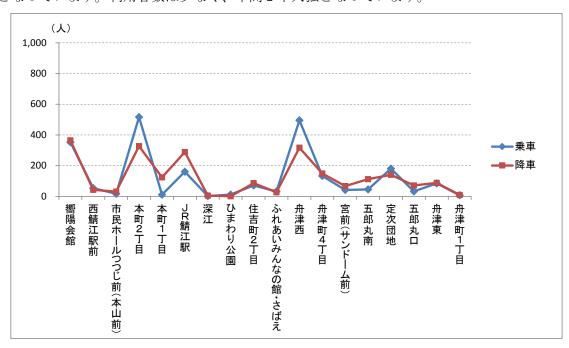
利用者の多い主要バス停は、JR鯖江駅、神明駅、アルプラザ前、西鯖江駅前、公立丹南病院となっています。



■バス停別乗降客数(平成27年度)

#### 〇鯖 江 南 線

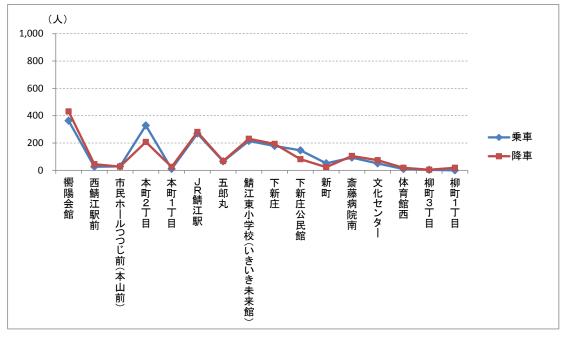
鯖江南線は、市街地南部の住宅地を巡回し、JR鯖江駅に接続する路線で、運行便数は3便/日となっています。利用者数は少なく、年間2千人強となっています。



■バス停別乗降客数(平成27年度)

# 〇新 横 江 線

新横江線は、市街地南東部の郊外の集落地を巡回し、JR鯖江駅に接続する路線で、運行便数は3便/日となっています。利用者数は少なく、年間2千人弱となっています。

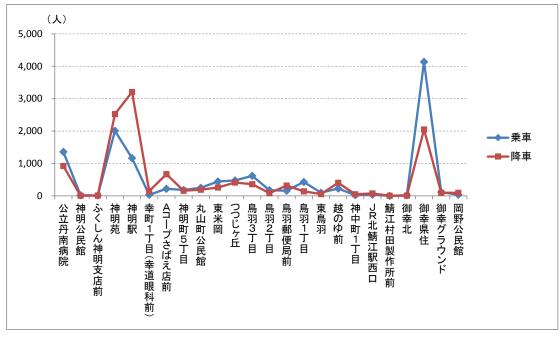


■バス停別乗降客数(平成27年度)

# 〇神 明 線

神明線は、市街地北部の住宅地を巡回し、福井鉄道神明駅に接続する路線で、運行便数は 5 便/日となっています。

利用者の多い主要バス停は、御幸県住、神明苑、神明駅、公立丹南病院となっています。

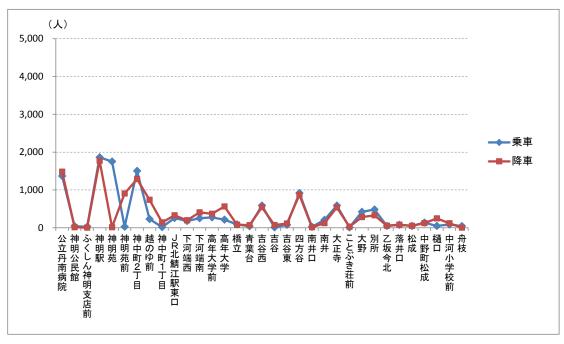


■バス停別乗降客数(平成27年度)

# 〇片 上・北 中 山 線

片上・北中山線は、市域北東部の集落地を巡回し、福井鉄道神明駅に接続する路線で、運行便数は6便/日となっています。運行距離は長く、所要時間は約1時間となります。

利用者の多い主要バス停は、神明駅、神明苑、公立丹南病院、神中町 2 丁目となっています。

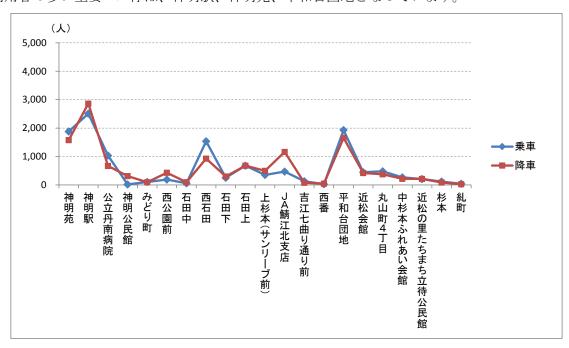


■バス停別乗降客数(平成27年度)

#### 〇立 待 線

立待線は、市域北西部の住宅地や集落地を巡回し、福井鉄道神明駅に接続する路線で、運行便数は5便/日となっています。

利用者の多い主要バス停は、神明駅、神明苑、平和台団地となっています。

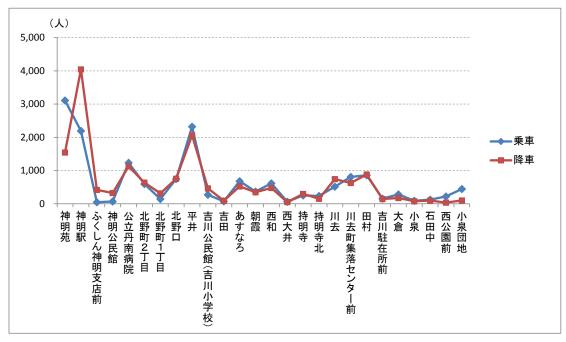


■バス停別乗降客数(平成27年度)

# 〇吉 川 線

吉川線は、市域西部の集落地を巡回し、福井鉄道神明駅に接続する路線で、運行便数は6便/日となっています。

利用者の多い主要バス停は、神明駅、神明苑、平井、公立丹南病院となっています。

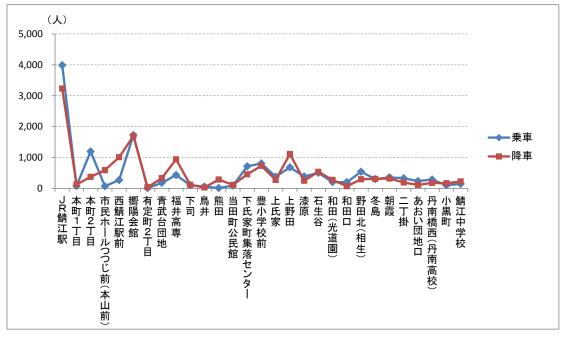


■バス停別乗降客数(平成27年度)

# O豊 線

豊線は、市域南西部の集落地を巡回し、JR鯖江駅に接続する路線で、運行便数は 5 便/日となっています。

利用者の多い主要バス停は、JR鯖江駅、嚮陽会館、上野田、本町2丁目、西鯖江駅前となっています。

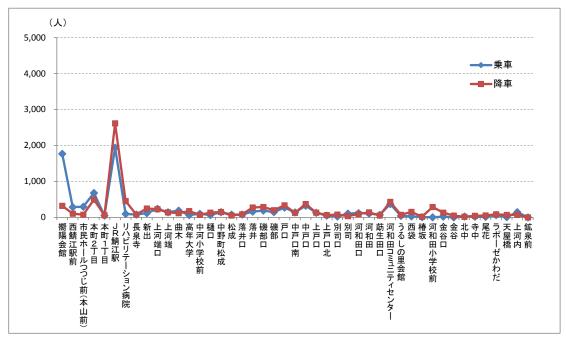


■バス停別乗降客数(平成27年度)

# 〇中 河・北 中 山 線

中河・北中山線は、市域東部の集落地とJR鯖江駅を連絡する路線で、運行便数は 5 便/日となっています。始発便と最終便は、河和田地区を連絡しています。

利用者の多い主要バス停は、JR鯖江駅、嚮陽会館、本町2丁目となっています。

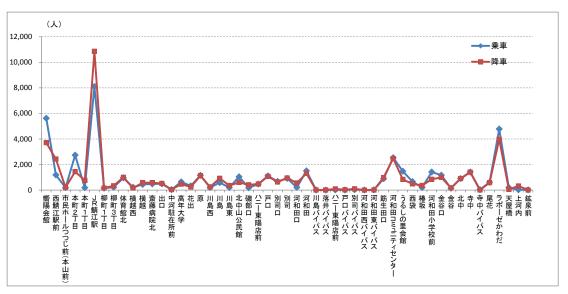


■バス停別乗降客数(平成27年度)

# 〇河 和 田 線

河和田線は、中央線に次いで利用者数が多い路線で、市域東部の河和田地区とJR鯖江駅を連絡する路線です。運行便数は、8 便/日あり、中央線を除く郊外連絡路線の中で最も運行便数が多い路線となっています。また、運行距離が長く、所要時間も長くなっています。

利用者の多い主要バス停は、JR鯖江駅、嚮陽会館、ラポーゼかわだ、河和田コミュニティセンター、本町2丁目となっています。

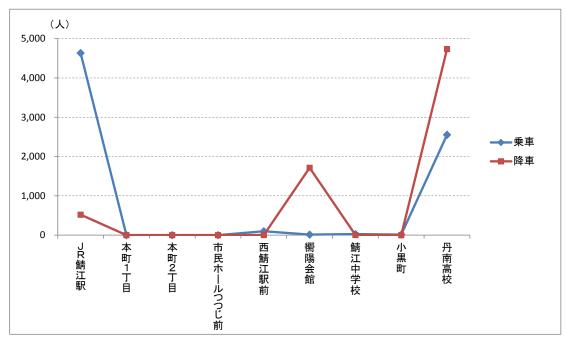


■バス停別乗降客数(平成27年度)

# 〇丹 南 高 校 線

丹南高校線は、丹南高校の学生を主対象とする路線で、JR鯖江駅と丹南高校を連絡する路線です。登校時1便と下校時2便を運行しています。

登校時の利用に比べて下校時の利用が少なくなっています。これは、部活動の終了時間に あわせたダイヤになっていないことや天候等が影響したものと考えられます。



■バス停別乗降客数(平成27年度)

# ■つつじバスの利用環境整備の経緯

本市では、つつじバスの周知、利用機会の創出をはじめ福井鉄道福武線の利用促進、つつじバスの利用環境の改善に向けて、継続的な取り組みを行うとともに、利用促進に向けたキャンペーンを実施しています。

主	1:	町	組	ᇇ	灾
土	<i>'</i> &	ЯX	邢山	M	谷

	主な取組内容
平成 19 年~	65 歳以上の自動車運転免許自主返納者に対する無料乗車券の交付
平成 22 年 9 月~	高齢者外出支援事業(福井鉄道ハッピー1 日フリー乗車券の車内販売および つつじバス無料乗車可)
平成 24 年 4 月~	鯖江市商店街連合会加盟店で 500 円以上の買い物により、1 回乗車無料
平成 24 年 10 月~	さばえ型地域通貨「ハピー」による乗車利用開始 つつじバスロケーション、丹南病院発着情報サービスの提供
平成 26 年 6 月	累計乗車人数 200 万人達成記念スタンプラリーの実施

# f)タクシー

市内には、タクシー事業者は3社(福祉限定を除く)あり、車両数等は下表のとおりです。

■タクシー事業者の車両保有状況

事業者名	車両総数	ジャンボタクシー (最大定員 10 人の ワンボックス車両)	福祉車両 (スロープ・リフト・ 寝台付車両)
鯖江タクシー(株)	14	1	_
相互タクシー(株)	13	1	_
(資)相馬タクシー	16	1	1

資料:中部運輸局福井運輸支局、福井県

J R 鯖江駅では、観光タクシー「駅から観タクン」として、「伝統工芸 越前漆器とめがねのまち鯖江コース」があり、「うるしの里会館」、「めがねミュージアム」、「萬慶寺」を 2 時間で観光することができます。

また、本市では、タクシーを活用した助成事業として、在宅の障がい者への「福祉タクシー利用料金助成事業」、在宅の要介護高齢者への「移送・外出支援サービス」を実施しています。

# ■福祉タクシー利用料金助成事業の概要

内 容	在宅の障がい者が下記のタクシー等に乗車した場合、その運賃の一部を助成します。			
助成額	小型タクシー初乗運賃相当額助成乗車券(年間36枚交付) なお、「タクシー運賃の割引」制度※との併用ができます。			
対 象 者	① 身体障害者手帳 1 級所持者 ② 身体障害者手帳 2 級所持者の内視覚障がい者または肢体不自由者 ③ 療育手帳所持者 ④ 精神障害者保健福祉手帳 1、2 級所持者 (ただし、いずれの場合も障がい者本人が自動車を有し、かつ運転が可能な場合は 対象とならない)			

※「タクシー運賃の割引」制度:身体障害者手帳・療育手帳所持者が、手帳を提示してタクシーを利用した場合に、その運賃が10%割引になります。

# ■移送・外出支援サービスの概要

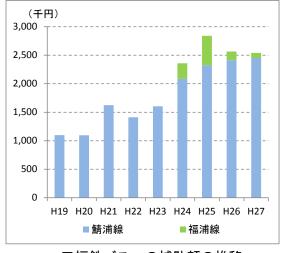
内 容	ねたきり老人等が医療機関や在宅保健福祉サービス提供施設等へ通う際の移送費を 助成します。
助 成 額	対象者に年額 12,000 円分の要介護高齢者タクシー乗車券を交付します。 (ただし、年度途中で要介護 3~5 と認定された者は認定された月からの月割りとします。)
対象者	鯖江市に住所を有する 65 歳以上の介護保険被保険者で、状態区分が要介護 3~5 と認定された在宅の高齢者。 (ただし、介護保険施設入所者および鯖江市福祉タクシー乗車券の交付を受けた者は、このサービスの対象外とします。)

# (2)公共交通別運営・支援状況

### ①公共交通別支援状況

本市の福井鉄道福武線への財政支援については、福武線運行維持事業補助金、福井鉄道福武線利用促進鯖江市民会議補助金、福井鉄道福武線活性化連携協議会運営事業費等負担金として、年額約4千万円を負担しています。

また、福鉄バスについては、路線バスである 鯖浦線、福浦線に対して、平成27年度は約250 万円を補助しています。



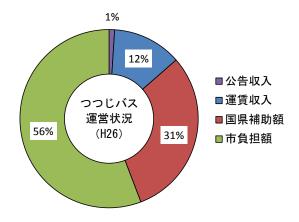
■福鉄バスへの補助額の推移

# ②つつじバス運行経費の状況

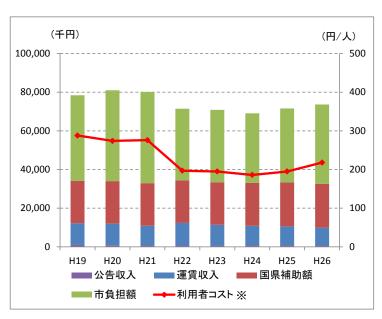
つつじバスの運行経費の内訳は、市負担額 が全体の 56%、国県補助額が 31%、運賃収 入が 12%となっています。

この運行経費の内訳の割合は、つつじバス の運行開始から大きな変化はなく推移して います。

利用者コスト(利用者1人当たりの市の負担額)は、つつじバス運行開始から減少傾向にありましたが、平成25年から増加傾向に転じています。



■つつじバス運営状況(平成26年)



※利用者コスト:利用者 1 人当たりに対する市の負担額 ■運行経費と利用者コストの推移

# (3) 公共交通利用促進のための市民団体の活動状況

本市における公共交通の利用促進のための市民団体には、「鯖江公共交通振興会」と「福井 鉄道福武線利用促進鯖江市民会議」の2つの組織があります。

平成26年度の各組織の活動内容は、以下のとおりです。

# ■鯖江公共交通振興会の活動内容

	活動内容	年 月 日	場所
1	市民列車の運行 サンダーバードで行く鯖江市民号	平成 26 年 9 月 6 日(土)	行先: 姫路城他
2	さばえもみじまつりでの 「さばえ街なかツアー」	平成 26 年 11 月 8 日(土)、 平成 26 年 11 月 9 日(日)	西山公園
3	JR西日本金沢支社への陳情	平成 26 年 10 月 31 日(金)	_

# ■福井鉄道福武線利用促進鯖江市民会議

	活動内容	年 月 日	場所
1	さばえつつじまつりでのチラシ、ティッシュ配布	平成 26 年 5 月 4 日(日)	西山公園
2	福井県年金受給者協会鯖江支部総会でのチラシ配布	平成 26 年 6 月 15 日(日)	文化センター
3	さばえ環境フェア 2014 でのパネル展示、チラシ設置	平成 26 年 6 月 28 日 (土)	嚮陽会館
4	ものづくり博覧会ブースでのチラシ設置、配布	平成 26 年 10 月 25 日(土) ~平成 26 年 10 月 27 日(月)	嚮陽会館
5	高年大学学園祭でのチラシ、ティッシュ配布	平成 26 年 10 月 30 日(木)	高年大学
6	広報紙「福井鉄道福武線利用促進鯖江市民会議だよ り」作成・町内班回覧	平成 27 年 3 月 31 日 (火)	_